



「世界脳炎デー」- 脳炎／脳病変に関する一般市民と専門家の意識向上：症状の早期発見、早期診断、そして予防

アジア小児感染症学会（ASPID）、アジア太平洋小児科学会（APPA）、香港華人医師会（HKCMA）、香港小児免疫・アレルギー・感染症学会（HKSPIAID）、マカオ小児科学会、フィリピン小児感染症学会（PIDSP）、タイ小児感染症学会（PIDST）、インドネシア小児科学会感染症・熱帯病ワーキンググループ、日本小児感染症学会（JSPID）、シンガポール小児科学会、パキスタン小児科学会感染症グループ、バングラデシュ小児感染症学会（BSPID）、小児感染症アカデミーによる共同声明インド、マレーシア小児科学会、スリランカ小児科医会、ハジェテペ大学医学部小児感染症科（トルコ、アンカラ）

「世界脳炎デー」にあたり、アジア小児感染症学会（ASPID）と 15 の医学会は、細菌、ウイルス、その他の病原体によって引き起こされる脳の炎症である「**脳炎**」と、宿主の免疫応答の異常により様々な感染性因子に関連する非炎症性の脳障害である「**脳病変**」について、認識を高めるための声明を発表しました。脳炎／脳症は、世界中で高い死亡率と罹患率を引き起こします。脳炎／脳症を発症した患者は、行動障害、チック症、反復性頭痛、睡眠障害、運動障害、神経認知障害などの持続的な症状を呈する可能性があり、多くの患者とその家族の生活に重大な影響を与えます。

私たちは、様々な分野の専門家の皆様に、これらの患者様とご家族に対する多職種連携のケアにご関心とご協力を賜りたく、心より願っております。

脳炎／脳病変の症状と徴候を早期に発見することで、適切な時期の診断と治療が可能となり、脳炎／脳症の長期的な合併症を軽減することができます。

これらの症状と徴候には、以下が含まれます。

- 発熱
- 頭痛
- 光や音への過敏症
- 首のこわばり
- 眠気または倦怠感
- イライラの増加
- 発作
- 皮膚の発疹
- 会話の困難および言語の変化
- 注意力の変化、混乱、または幻覚
- エネルギーの低下
- 食欲不振
- 歩行の不安定さ
- 吐き気と嘔吐

最も重要なのは、急性脳炎／脳症の原因となるウイルスの一部は、ワクチン接種によって予防できるということです。例えば、インフルエンザ、COVID-19、デングウイルス、日本脳炎ウイルス、麻疹・おたふく風邪・風疹（MMR）、水痘帯状疱疹ウイルスなどです。

専門家の皆様には、皆様の健康リスク評価に基づき、それぞれの生活環境に適したワクチン接種をお勧めいたします。

アジア小児感染症学会（ASPID）の会員は、特にワクチンの開発、推奨、そして実施に関して、最新の科学的根拠に基づいた活動に引き続き尽力します。ASPID は、地域および国際的なパートナーと緊密に連携し、新興感染症の監視、効果的な予防接種プログラムの支援、そしてワクチンへの信頼促進を通じて、アジアおよび世界各地の子どもたちと地域社会の健康を守ります。

2026年2月22日